

EU Indicators

発表日: 2019年6月28日(金)

欧州経済指標コメント: 6月ユーロ圏消費者物価

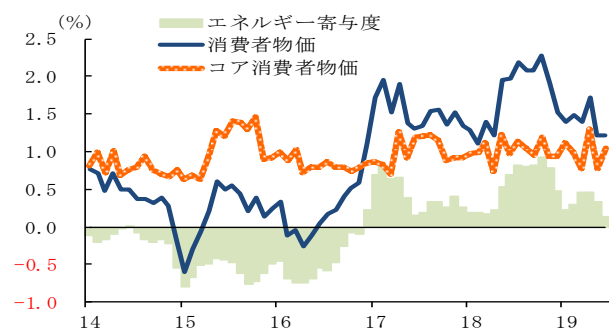
～喜ばないコア物価のリバウンド～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

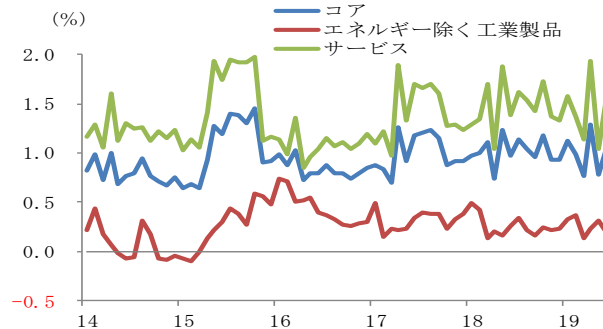
- ユーロ圏の消費者物価の6月速報値は前年比+1.2%と前月(同+1.2%)から不変。変動の大きい食料・たばこ・アルコール・エネルギーを除くコア物価は同+1.1%と、過去1年の平均的な推移に復帰。他方、6月入り後の原油価格の調整を受け、エネルギー価格の上昇率が大幅に鈍化したことが、全体計数の上昇加速を抑制した。食料・アルコール・たばこ価格はほぼ前月並み。
- 先月までのコア物価の細かい内訳をみると、例年に比べてイースター休暇時期がずれていたことを反映し、パッケージ旅行と航空運賃が4月に上振れした一方、5月は下振れしていた。今月のコア物価の細かい内訳は7月17日の確報値で公表されるが、サービス価格の上昇率が前月から再加速した一方、エネルギーを除く工業製品価格の上昇率が鈍化。昨日発表されたドイツの州別計数ではパッケージ旅行と航空運賃が上振れし、コア物価の押し上げ要因となっていた。ユーロ圏全体の6月のコア物価も同様に上振れしたとみられ、来月は反動減が予想される。
- 労働需給の逼迫傾向と賃金上昇率の高まりにもかかわらず、暦要因による振れの大きいパッケージ旅行や航空運賃を除くコア物価の実勢は緩慢な推移が続いている。6月中旬に史上最低水準を更新した期待インフレ率(5年先5年物スワップから計算)は、イラン情勢の緊迫化による原油価格の反発で一時1.2%台後半に上昇したが、月末に向けて再び1.2%割れ。中期的な物価安定が脅かされつつあり、ECBは追加緩和に傾いている。

■ユーロ圏: 消費者物価 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏: コア消費者物価 (前年比)



注: コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所: Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価 (%)

	2018		2019		2018		2019							
	3Q	4Q	1Q	2Q	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費者物価 (前期比)	0.5	0.3	-0.0	-	0.2	0.2	-0.0	-0.3	0.0	0.2	0.1	0.4	0.0	-
消費者物価 (前年比)	2.1	1.9	1.4	1.4	2.1	2.3	1.9	1.5	1.4	1.5	1.4	1.7	1.2	1.2
コア消費者物価 (前期比)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	1.3	0.8	1.1
コア消費者物価 (前年比)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	0.9	0.9	1.1	1.0	0.8	1.3	0.8	1.1
食料/アルコール/たばこ (前期比)	2.5	2.0	2.0	1.5	2.6	2.2	1.9	1.8	1.8	2.3	1.8	1.5	1.5	1.6
食料 (前期比)	2.0	1.4	1.5	-	2.1	1.6	1.3	1.2	1.3	1.8	1.3	1.1	1.1	-
アルコール (前期比)	2.5	2.5	1.9	-	2.6	2.6	2.7	2.2	1.9	2.0	1.9	1.3	1.5	-
たばこ (前期比)	5.8	5.4	4.9	-	5.7	5.7	5.4	5.0	5.0	5.3	4.5	4.1	4.2	-
エネルギー (前期比)	9.5	8.4	3.9	3.6	9.6	10.8	9.1	5.5	2.7	3.6	5.3	5.3	3.8	1.6

注: 消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所: Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

